テーマ展Ⅰ　茨城県立歴史館名品展

花ざかり

―描かれた春夏秋冬―

2019年

4月20日(土)～6月9日(日)

展示解説　要入館券

4月21日(日)	5月3日(金・祝)
11:00～／14:00～	11:00～／14:00～

※歴史館まつり期間にも展示解説を行います。

四季草花鳥獣図屏風(当館蔵)より抜粋

茨城県立歴史館　水戸市緑町2-1-15
Tel:029-225-4425　Fax:029-228-4277

［休館日］月曜日(祝日の場合はその翌日) ただし4/30(火)は開館、5/8(水)は休館　［開館時間］9:30～17:00(入館は16:30まで)

［入館料］一般150円(120円)／大学生80円(60円)／満70歳以上70円(60円)※(　)内は20名以上の団体料金

［入館無料］高校生以下／身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、指定難病特定医療費受給者証をお持ちの方と付き添いの方1名
歴史館まつり 6/1(土)・2(日)　※満70歳以上の方は5/2(木)は入館無料

茨城県立歴史館　検索

テーマ展Ⅰ 茨城県立歴史館名品展

花ざかり

―描かれた春夏秋冬―

菊花図（当館蔵）

牡丹図（当館蔵）

春は桜、夏は朝顔、秋は菊、そして冬は水仙……、四季折々さまざまな花が私たちの眼を楽しませてくれます。そのため、花は季節を表すモチーフともなります。ひな祭りを「桃の節句」、こどもの日を「菖蒲の節句」とも言いますし、「立春」や「夏至」などの二十四節気をさらに三等分した七十二候という季節をあらわす表現には、「桜始開」や「牡丹華」など、花の名前が多く登場します。

そして花は絵画や陶磁器、武具などさまざまな芸術作品にも登場します。『万葉集』などの和歌集にも花をテーマにした数多くの歌が詠まれ、現代でも小説や映画、歌などに取り上げられます。それほどに花は古代より現代に至るまで、我々の心を豊かにしてくれる存在です。

今回はいつどんな花がどのように描かれてきたのか、当館の収蔵品から花をモチーフにした絵画や工芸品をとりあげ、ご紹介します。

歴史館で春夏秋冬のお花見をしてみませんか?

4・5月の主な行事

◇日曜歴史館

「一橋徳川家の刀剣と刀装」

5月5日（日） 14:00～15:30【先着200名 高校生以上】

担当：当館 田中伸吾

♠よろい・かぶと体験 **要事前申込：〆切 4/18（木）まで**

戦国武将が身に着けた甲冑（体験用）の着心地や重さを体験できます。

5月5日（日） 10:00～12:00 対象：小・中学生【定員30名】

◇**当日受付**／先着200名のイベントは当日9:30から総合案内所にて整理券配布

♠**要事前申込**／往復ハガキに講座名・住所・氏名・電話番号・学年・保護者名を記入の上、茨城県立歴史館宛に申し込んでください。（1枚で2名様まで記入可）また、HP上からも申し込めます。定員を超えた場合は抽選になります。

次回企画

体験企画

わくわく歴史体験!!

7月13日（土）～
8月25日（日）

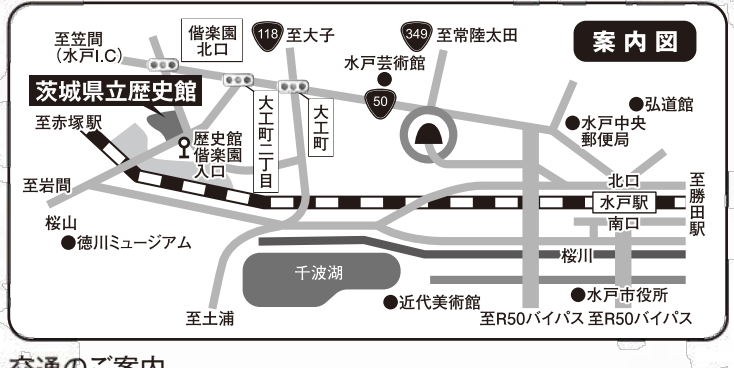
古代服体験

同時期開催

学習支援展示

ちょっと昔のくらし

4月13日（土）～
6月9日（日）



交通のご案内

◎茨城交通バス（水戸駅北口4番のりば）「桜川西団地」など偕楽園方面行き乗車約10分、「歴史館偕楽園入口」下車、徒歩2分。

◎常磐自動車道水戸インターから約7㎞、車で15分。